

沖縄-東海ヨットレース 2026

通信要領

レース参加艇の動静把握のため、通信衛星等を利用した通信により、以下の要領でロールコールを実施する。

レース本部からの呼び出しに常に応答できる状態を保たなければならない。また、海上保安当局等からの情報聴取のため、海上では国際 VHF のチャンネル 16 を常時ワッチすること。天候、艇員、船体等の状況により、指定時間にロールコールが困難な場合は、艇員および船体の安全を最優先に行動すること。

参加艇は、必ず通信テスト(4月27日(月)11:00 から 14:00 まで実施)に参加し、自艇の通信機器の作動確認を実施すること。なお、国際 VHF のテストは 13:30 に実施する。

ロールコール、フィニッシュ予告および通信テストの詳細は、下記に従い実施する。

1. ロールコールおよびフィニッシュ予告

1.1 報告の時間

下記の時間帯に、衛星携帯電話から電子メールまたはショートメールを送信して行う。レース本部は、各艇からのメール受信後に返信することで、通信の確立を確認したものとする。

電子メールまたはショートメールの送信が困難な場合には、衛星携帯電話の音声通話によりロールコールを行う。なお、陸上携帯電話の電波が届く海域では、この使用も可とする。

表 1.1 ロールコールおよびフィニッシュ予告

	【ロールコール】 (4/29 レーススタートから 自艇フィニッシュまで)	【フィニッシュ予告】 (伊良湖通過)
午前の部	7:00~7:30	伊良湖を通過後、通過時間と凡そのフィニッシュ見通しを通告すること。
午後の部	19:00~19:30	
連絡先	rollcall@okinawa.racetosc.jp または 090-2943-2166(上記時間のみ)	レース本部電話 090-5764-3323 (4/30 12:00 から本部電話を兼ねる)

※1 フィニッシュ後は、ロールコール不要。

※2 リタイア艇は、レース本部へ通報した後に、避難港に入港するまでロールコールを実施する。

1.2 ロールコール内容

下記の表の 5 項目について報告すること。

表 1.2 ロールコールの内容

	コール項目	備考
1	セール番号	携帯電話使用時は、「セール番号」と「艇名」を通知
2	緯度	自艇の現在位置(北緯xx度xx分まで。秒は不要)
3	経度	自艇の現在位置(東経xxx度xx分まで。秒は不要)
4	レース海域の風速	自艇情報(自艇の速度)は連絡不要
5	レース海域の風向	自艇情報(自艇のヘッドイングは連絡不要)

1.2.1 電子メールまたはショートメールの入力について

数字のみ。項目の区切りは、スペース(または、カンマ、ピリオド、ハイフン等)を使用すること。

(入力例)

セール番号 1234、北緯 30 度 48 分、東経 132 度 5 分、海域風速9ノット、海域風向 320 度の場合の入力例

⇒ 1234 3048 13205 9 320

(注)風速、風向は原則 TWS、TWD とするが、自艇の AWS、AWA でも可とする。特に詳細な報告は不要とする。緯度経度について、秒は不要とする。報告内容は、ロールコール指定正時の計測とする。

1.2.2 位置情報の提供

ロールコールで収集した各艇の位置情報等は、公式ホームページで公開することがある。

1.2.3 衛星携帯電話機について

衛星携帯電話機の操作については、乗船する 2 名以上が、メール送信と通話の両方を操作できるよう、事前に確認することを勧める。

通話は、音声は 2 秒程遅れる時差が生ずることがあるため、聞き取りやすいように、ゆっくりと話すこと。

2. 通信テスト

2.1 通信テストの参加義務、テスト手段

2.1.1 通信テストは、全艇参加を必須とする。

2.1.2 通信手段は、①電子メールまたはショートメール、②衛星携帯電話の音声通話、③国際 VHF の3つの手段、すべてを実施すること。

2.2 通信テストの時間

下記の表2.1の時間帯に実施する。

表2.1 通信テスト時間

① 電子メールまたはショートメール	4/27(月)11:00から14:00 各艇で都合の良い時間に実施すること。
② 衛星携帯電話の音声通話	
③ 国際 VHF	4/27(月)13:30から全艇参加にて約 5 分間に実施。

※国際 VHF の通信順番は、を「3. 国際 VHF のテスト」を参照すること。

2.3 リタイア等の通報

2.3.1 帆走指示書の指示に従うこと。

2.4 時間内にロールコールを確立できなかった場合

2.4.1 時間内にロールコールできない場合は、次回ロールコール時に通告すること。

2.4.2 ロールコール送信が成功しなかった場合や、通信委員からの返信を確認できなかった場合には、フィニッシュ後、航海日誌または衛星携帯電話の履歴等を委員会に提示・説明し、委員会が合理的な理由があると判断した場合には、ロールコールペナルティを解消できる場合がある。

3. 国際 VHF のテストについて

3.1 テスト手順

本表の順序に従い、チャンネル 74 で国際 VHF テストを実施する。

13:25 には国際 VHF 通信機を ON にし、待機すること。

13:30 から下記の順番にて、テストを開始する。

表3.1 国際 VHF テストの順番

No.	セール No.	艇名	呼出名称
1	JPN1122	1122トレッキー	イチイチニイニイ トレッキー
2	JPN5910	Zero	ゼロ
3	JPN6791	Global One 11.98	グローバルワン
4	JPN7105	Shallon VIII	シャローン エイト
5	NZL56718	Monday Night	マンデイナイト

表3.2 テスト会話(例)

下記を参考に、同様の発話にて発信、受信の確認をすること。

1122トレッキー	こちら、1122トレッキー。ただ今から、国際 VHF のテストを実施します。Zero さん聞こえますか。どうぞ。
Zero	はい、こちら Zero です。聞こえます。どうぞ。
Zero	こちら、Zero。Global One11.98 さん、聞こえますか。どうぞ。
Global One 11.98	はい、こちら Global One 11.98。聞こえます。どうぞ。
Global One 11.98	こちら、Global One11.98。Shallon VIII さん、聞こえますか。どうぞ。
Shallon VIII	はい、こちら Shallon VIII。聞こえます。どうぞ。
Shallon VIII	こちら、Shallon VIII。Monday Night さん。聞こえますか。どうぞ。
Monday Night	はい、こちら Monday Nigth。聞こえます。どうぞ。
Monday Night	こちら、Monday Night。1122 トレッキーさん。聞こえますか。どうぞ。
1122トレッキー	はい、こちら 1122トレッキー。聞こえます。どうぞ。 以上を持ちまして、国際 VHF のテストを終了します。

国際 VHF のテストは、通信委員が参加艇に終了の確認をするか、または、いずれかの艇に同乗して実施を確認する。

以上